

発議第7号

口蹄疫対策の強化・充実を求める意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成22年6月7日提出

提出者 高山市議会議員 島田政吾

賛成者 高山市議会議員 大木 稔
杉本 健三
伊 嵩 明 博
水 門 義 昭
松 葉 晴 彦
佐 竹 稔
車 戸 明 良
中 箴 博 之
岩 垣 和 彦

口蹄疫対策の強化・充実を求める意見書

今般、宮崎県で発生した家畜伝染病口蹄疫は、急速に感染が拡大し、畜産農家ばかりではなく地域全体を震撼させています。

今回の口蹄疫の発生により、宮崎県の畜産農家は大きな影響を受けており、畜産をはじめとした農業を基幹産業とする地域経済に甚大な被害を与えています。また、各種の防疫対策が鋭意講じられているにもかかわらず、終息の兆しが見えていない現状から、飛騨地域の畜産農家においても不安が募る一方です。

さらに、近年の景気の低迷や飼料・敷料価格の高騰などにより経営状況が非常に厳しい中で自主防疫を強化しており、畜産農家は疲弊してきています。

これらのことに鑑み、国・県におかれましては、下記事項について更なる強化・充実を図っていただきますよう要望いたします。

記

1. 口蹄疫の予防対策及びまん延防止対策の強化・充実を図ること。
2. ウイルスの侵入経路の解明等口蹄疫の発生原因を早期に究明し、今後の防疫対策の強化を図ること。
3. 「家畜伝染病予防法」及び「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」を早期に見直し、初期行動計画を明確にすること。
4. 被害農家に対する支援の充実を図ること。
5. 風評被害の防止対策の強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月7日

高山市議会